



## RISCはどのようにして組み立てられるのか？

演者：泊 幸秀 先生 (東京大学分子細胞生物学研究所・准教授)

日時：2010年6月29日(火) 15:00～17:00

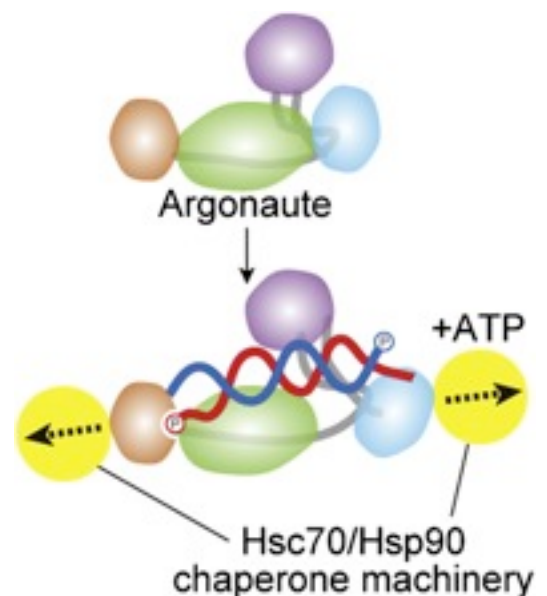
会場：総合研究棟A110室

### <講演要旨>

siRNAやmicroRNAなどの小分子RNAは、単独で働くわけではなく、RISCと呼ばれるタンパク質・小分子RNAの複合体を形成することで、はじめて自分自身と相補的な標的mRNAの発現を制御することができる。本セミナーでは、RISCがどのようにして組み立てられ、どのような機能を持っているのかについて、我々の最近の知見を紹介する。

### <参考文献>

- (1) Iwasaki S, Kobayashi M, Yoda M, Sakaguchi Y, Katsuma S, Suzuki T and Tomari Y. Hsc70/Hsp90 chaperone machinery mediates ATP-dependent RISC loading of small RNA duplexes. *Mol Cell*. (2010) June 3.
- (2) Kawamata T and Tomari Y. Making RISC. *Trends Biochem Sci*. 2010 Apr 13.
- (3) Yoda M, Kawamata T, Paroo Z, Ye X, Iwasaki S, Liu Q and Tomari Y. ATP-dependent human RISC assembly pathways. *Nat Struct Mol Biol*. (2010) 17(1):17-23.
- (4) Kawamata T, Seitz H and Tomari Y. Structural determinants of miRNAs for RISC loading and slicer-independent unwinding. *Nat Struct Mol Biol*. (2009) 16(9):953-960.



※本セミナーは筑波大学若手イニシアティブ主催セミナーです。奮ってご参加下さい。

連絡先：生命環境科学研究科 杉山智康 (内線8049、sugiyamt@biol.tsukuba.ac.jp)